

平成 27 年 3 月 31 日

### パゴー学園都市の建設状況

2017 年 3 月 27 日～29 日にジョイントディグリープログラム (JDP) 打ち合わせのため生命環境系辻村真貴教授、鈴木石根教授、内海真生准教授、水野谷剛准教授、清水和哉准教授、大森裕子助教、およびシステム情報系甲斐田直子助教が MJIT を来訪した。この内鈴木教授、内海准教授、清水准教授および大森裕子助教は 29 日 (水) に JDP における共同研究指導と関連して、パゴー地区に建設の学園都市を訪問した(右地図参照)。鈴木教授からパゴー学園都市の現状と今後の利用についてレポートを得たので鈴木教授の同意を得て下の通り転載する。



(以下) -----

UTM の校舎はほとんどできあがっており、実験台や実験装置、計測機器、実験機等が搬入されていました。また、ジョホールバルからの視察でしょうか、事務官かと思われる方々が、作業されておりました。

亜臨界水処理装置は Pagoh に設置されますが、Pagoh の UTM の運営に関して、MJIT/UTM KL と UTM, Johore Bahru との連携がいっそう必要となります。最先端の機器を十分に利活用するためにも継続して稼働できる体制を作っていただける様をお願いいたします。このことは藻類施設でも同じですが、日本側我々の側でもできることやるべきことがありましたら、ご指導いただきましたと思います。今回パゴーの視察により、現状を認識できましたが、更なる状況の把握のためにも、MJIT の先生から情報の提供が極めて重要であると感じました。



(視察中の内海准教授、清水准教授および大森裕子助教。亜臨界水処理装置設置現場にて。後ろの建物は UTM パゴー校舎)

(以上、一部改変、文責：岩本) -----